

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の意義について、職員が十分理解しているとはいえない。	地域密着型サービスとして、地域を意識し、ニーズに沿った理念を全職員で話し合い、作成した理念を共有し、実践する。	毎月の職員会議で、理念の共有に向けて全職員で話し合い、理念に基づいたケアを実践していく。事業所理念に地域密着型サービスの意義をふまえた項目を盛り込む。	3ヶ月
2	26	介護計画は介護支援専門員から職員に伝達されているが、職員が計画書を見る機会がほとんどない。	職員も介護計画作成に参加し、チームで介護計画を作成し、介護計画に沿ったケアを提供する。	利用者台帳に介護計画を記載し、常に職員が確認できるようにする。介護計画に沿ったケアを提供し、介護記録を行っていく。	3ヶ月
3	40	食事介助時の声かけが少なく、食べることへの意欲を引き出すような場作りが十分とはいえない。	一人ひとりに合わせた言葉かけで楽しく食事ができるような工夫をする。	毎月の職員勉強会で、認知症についての理解を深め、言葉かけの重要性についても繰り返し話し合い、全職員の意識づけをしていく。	3ヶ月
4	36	居室に空調設備がないため扉を開放している。また、扉に透明ガラスがあり、廊下から居室が見えてしまい、プライバシーが確保されていない。職員間の会話に配慮にかけられる言葉遣いがみられることもある。	プライバシーの確保に向けた工夫をする。言葉遣いや声かけについて配慮する。	扉の透明ガラスはカーテン等で居室が見えないよう工夫していく。職員間で利用者様の排泄などを確認する際は、他利用者様、外部の方に聞こえないよう声のトーンに配慮する。	1ヶ月
5	54	居室に空調設備がないため、出入り口の扉が解放されている。	居室でのプライバシーを確保し、居心地よく過ごせるような空調管理をする。	居室の空調設備については事業者と相談し、検討していく。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。